

第10回 共に安心して暮らせる 京都デザインフォーラム

「ケアの視点から、新しい連帯のあり方を考える」
—さまざまなバリアをこえて、共に生きる社会をめざして—

【日時】2025年1月18日(土) 13:00~16:30

開場 12:30

【会場】ハートピア京都 大会議室他

〒604-0874 京都市中京区清水町 375

TEL 075-222-1777

会場での参加以外に、オンラインでの参加も
できます。



【主催】 障害者権利条約の批准と完全実施をめざす京都実行委員会
(事務局：南区東九条松田町28 メゾングラス京都十条101)

日本自立生活センター気付

TEL:075-671-8484 FAX:075-671-8418 Email: jcil@cream.plala.or.jp

【助成】 京都市人権啓発活動補助金

【後援・助成】 京都新聞社会福祉事業団

【参加費】 500円(資料代)

【申込締切】 1月10日

○情報保障(手話通訳、要約筆記、点字資料など)希望の方: 12月25日まで
にお申し込みください。

○オンライン参加希望の方: 必ずメールで申し込みをしてください。(申し込み
いただいた人に、ZOOM ミーティングの URL をお送りします)



障害者権利条約の批准と完全実施をめざす京都実行委員会では、いくつもの障害当事者団体などが協力して、障害者権利条約の完全実施をめざす活動を行っています。その活動の中で障害を持つ人も持たない人も共に生きやすい街づくりをめざす集会として京都デザインフォーラムを実施してきました。

前回に続いて今回も、ケアの問題を中心において、共に生きることができる社会づくりについて、みんなで考えてみたいと思います。

《 プログラム 》

13時 開会のあいさつ

13時5分 基調講演

「ケアの倫理の視点から、新しい連帯のあり方を考える」

同志社大学大学院教員 岡野 八代氏

13時50分 「パネルディスカッション」 コーディネーター 岡野 八代氏

「女性障害者の立場から — 産み、育てる権利について考える」

自立生活センター・VISION 代表 寺嶋千恵子氏

「障害児者の親の立場から — ケアをめぐるさまざまな課題について」

沖田 友子氏

「京都市ケアラー支援条例がめざすもの」

京都市障害保健福祉推進室 企画社会参加推進課長 遠藤 洋一氏

「当事者と家族の孤立化を防ぐために」

日本自立生活センター職員 渡邊 琢 氏

15時20分～35分 休憩

15時35分～16時15分 「小集団での討論」

移動（10分）

閉会のあいさつ

16時30分 閉会

